

川崎の発展と環境のあゆみ

川崎ゆかりの
企業発

川崎の環境の歴史

暮らしの道具の歴史

川崎のはじまり、宿場から工業都市へ

青い空、白い雲を取り戻すために

400
年前

1623
元和 9

川崎宿が東海道五十三次の宿場となる



1760年代～

産業革命

200
年前

1899
明治 32

大師電気鉄道（現京急大師線）が六郷橋と大師間で開通する



●1909年 「味の素」
一般販売開始 〈味の素〉

100
年前

1924
大正 13

川崎町、御幸村、大師町が合併して「川崎市」が誕生

人口 **5** 万人

80
年前

1941
昭和 16

太平洋戦争（～1945年）

1950
昭和 25

戦後の復興とあわせて、この頃から大気汚染に対する苦情が増え始める



●1951年 合成洗剤「花王粉せんたく」発売
（1953年「ワンドフル」と改称）〈花王〉

●1955年 日本初の自動式電気釜発売〈東芝〉

●1955年 脱水型二層式電気洗濯機の生産
開始、その他各社から発売
〈富士通ゼネラル〉



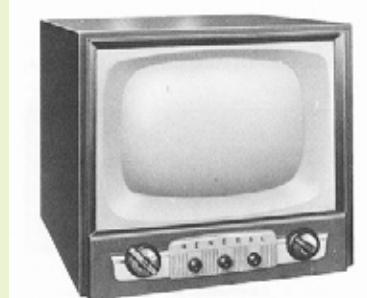
70
年前

1952
昭和 27

ロンドンスモッグ事件

1955
昭和 30

大師地区のイチジクの1／3が一夜にして
枯死（イチジク畑落葉事件）



●1956年 量産型白黒テレビを発売
〈富士通ゼネラル〉

●1956年 川崎さいか屋百貨店開業

1950～70年代

高度経済成長期、この頃日本各地で公害による健康被害が発生した

1957
昭和 32

市人口 **50** 万人突破

1960
昭和 35

公害対策を求める市民運動が活発になる（公害防止条例制定運動）

市内の臨海部に石油コンビナートが形成される（～1961年）



●1960年 日本初のカラーテレビを開発〈東芝〉

1962
昭和 37

レイチェルカーソン「沈黙の春」出版

1964
昭和 39

川崎市で全国初の二酸化硫黄(SO₂)濃度自動測定を開始

東京オリンピック開催、東海道新幹線が開通

●1964年 「クノールスープ」発売〈味の素〉



1967
昭和 42

「公害対策基本法」公布、
大気汚染・水質汚濁など7つの公害が規定

●1970年 「味の素ほんだし」発売〈味の素〉



1970
昭和 45

市内初の光化学スモッグ発生、多くの被害者がでる

1971
昭和 46

埋立て事業と海面汚染のため川崎漁業協同組合が漁業権放棄

1972
昭和 47

「川崎市公害防止条例」公布

川崎市が政令指定都市になる（川崎、幸、中原、高津、多摩の5区誕生）

青い空、白い雲を取り戻すために

未来の環境をつくる

50年前	1973 昭和 48	川崎市公害監視センター完成、大気汚染自動監視システム完成 「川崎市工場緑化推進協議会」(現「川崎市みどりの事業所推進協議会」)が発足 市人口 100 万人突破 「川崎市における自然環境の保全及び回復育成に関する条例」公布 第一次オイルショック(～1977年)、第二次オイルショック(1978年～ 1983年) 川崎市公害研究所が完成
	1974 昭和 49	市民の花(つつじ)、市民の木(つばき)を制定
	1976 昭和 51	川崎市で全国初の「環境アセスメント条例」公布
	1979 昭和 54	大気中の二酸化硫黄(SO ₂)が環境基準を市内全測定局で達成
	1982 昭和 57	川崎公害訴訟がはじまる(第一次～第四次)(～1999年)
	1990 平成 2	川崎市「ごみ非常事態」を宣言
	1995 平成 7	阪神淡路大震災
	1999 平成 11	「川崎市緑の保全及び緑化の推進に関する条例」公布
	2005 平成 17	大気中の浮遊粒子状物質(SPM)が環境基準を市内全測定局で達成 京都議定書発効
	2006 平成 18	この頃から川崎駅や武蔵小杉駅周辺の工場跡地などに、商業施設やタワーマンションが次々とオープンし再開発が活発になる
40年前	2011 平成 23	東日本大震災(福島第一原子力発電所事故が発生)
	2014 平成 26	大気中の二酸化窒素(NO ₂)の環境基準を市内全測定局で達成
	2015 平成 27	SDGs(持続可能な開発目標)の採択、パリ協定発効
	2017 平成 29	市人口 150 万人突破 市民1人1日あたりのごみの排出量が政令指定都市のなかで最小に
	2019 令和元年	SDGs 未来都市に選定 市民 100万本植樹運動達成
	2020 令和 2	2050 年の二酸化炭素排出実質ゼロを表明 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が世界的に流行
	2021 令和 3	東京オリンピック・パラリンピック2020 開催
30年前	2022 令和 4	脱炭素先行地域に選定
	2024 令和 6	市制100周年 全国都市緑化かわさきフェア開催
	現在	



●1985年 世界初のラップトラップ型パソコンを開発・商品化<東芝>



武蔵小杉のシンボル @hoshiko_in_ykt
Instagram【公式】@kawasaki_townscapeより

●2015年 自立型水素エネルギー供給システム「H2One」開発・商品化<東芝>



●2019年 サステナブルな洗浄基材による液体衣料洗剤「アタックZERO」発売

●2019年 旭化成名誉フェロー 吉野彰さんがノーベル化学賞を受賞。川崎技術研究所時代にリチウムイオン電池を発明



Green For All
KAWASAKI
2024